

8/21  
国民新聞

# 「離党では済まない」

## 武藤議員問題で公明代表

公明党の山口那津男代表は二十日、未公開株をめぐる知人と金銭トラブルになっていると週刊誌に報道された自民党の武藤貴也衆院議員（滋賀4区）に関し「疑念を投げ掛けられた以上、離党だけでは済まない。自ら事実を説明すべき

だ」と述べた。自民党は同日、武藤氏の離党届を十九日付で受理したと発表した。持ち回りの党紀委員会で決めた。

山口氏は公明党中央幹事会で「国民に疑惑を持たれるようなことには、自ら説明責任を果たすべきだ」

と強調。漆原良夫中央幹事会会長も記者会見で、磯崎陽輔首相補佐官が安全保障関連法案をめぐる「法的安定性は関係ない」と発言した問題などと併せて「法案へのマイナス要因になっている」と指摘した。

民主党の枝野幸男幹事長は国会内で記者団に「事実ならば離党届の受理で済む話ではない。自民党総裁の

安倍晋三首相の責任問題として追及したい」と語った。

衆院の新たな会派別勢力分野は次の通り。  
自民党二八九▽民主党・

無所属クラブ七二▽維新の党四〇▽公明党三五▽共産党二一▽次世代の党二▽生活の党と山本太郎となかまたち二▽社民党・市民連合二▽無所属一一▽欠員一